

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 7年 7月 11日13時30分 ~14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
宮本 毅	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
伊勢田 義紀	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子 (欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
片山 徹	当該サービスに知見を有する者	TOWN訪問診療所横浜 院長
菅井 直樹 (zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立 (zoom)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
宮島 佳代	事業所職員	統括管理者
石濱 千秋	事業所職員	管理者
青柳 かおる	事業所職員	介護職員
羽後 みゆき	事業所職員	介護職員
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
加藤 萌子	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2～4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 令和7年度5月、6月実績報告、
2. 令和7年度5月、6月〔身体拘束・虐待防止検討委員会〕報告
3. 令和7年度5月、6月〔感染症委員会〕報告
 - 1-1) 病院からの紹介も多いですね。看多機の運営はとても難しいと感じますね。居宅のケアマネさんからすると利用者の奪い合いというか。医療度が高い利用者が多いですと、先ほどのような事故、転倒など往診の医師との連携も重要だし、特養と比べるとすごく手厚い印象です。看多機の運営はなかなか難しいと思う。人手不足の中ですごくいですね。
 - 1-2) 実績の件で、相談があっても利用につながっていない感じです。利用者を受けて増やす方向ということですか？ 今後どのような方を何人くらいとか具体的に考えありますか？
4. インシデント・アクシデント・苦情報告
 - 4-1) 細かいインシデント・アクシデント報告ありがとうございます。職場ではどのように共有しているのですか？
5. 令和7年度5月、6月活動報告
6. 意見交換
 - 6-1) 毎日暑いですが、事業所としての熱中症対策を教えて欲しいです。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

- 1-1) 病院からの相談の中には、医療ケアが必要な方が多く、要介護度が高い方には1人にスタッフ2,3人の手がかかり、一人では賄えない、人手が必要です。ただ、利用者の中でも要介護4・5だった方が、経管栄養だった方が口から食事が摂れるようになり、軽くなる場合もある。そこを目指して可能な限り、よくしていくのも、看多機の役目かと考えている。
- 1-2) 具体的にターゲットが決まっている訳ではありません。今後は重度だけではなく、軽度でも必要であれば増やしていかなければと考えています。

最近では誤嚥性肺炎の方がいらっちゃって、ベッドが埋まってしまっている状況。1人は良くなってきていて自宅に戻っています。連泊希望される利用者が多いので、7床あるベッドが埋まってしまう。3名亡くなったので少しは空くが、ベッドコントロールが難しい。
- 4-1) インシデントレポートを提出してもらい、カンファレンスで意見交換をして、共有と対策を検討しており、その後、医師会の先生への報告も行っている。
- 6-1) 職員は、ネッククーラー、夏用Tシャツを使用しています。

夏用Tシャツを支給して、車のサンシェードを変える案もあります。朝昼夕社内です涼んでもらい、水分・アイスの準備もしていますが、充分かわかりません。移動車が暑いんですね。

熱中症対策は、コロナワクチンの時導入して今使用していないディープフリーザーで2ℓのペットボトル凍らせて訪問の時に車に置いてあります。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

「秋の演奏会」を9/6(土)予定している。チラシを作成したら、町内会にお配りすることを報告

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 7 年 6月

登録者数(6月 30日現在)		女性 13名	男性 5名	計 18名				
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	0 名	0 名	1名	3名	2名	3名	9名	0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	9	0	19	0 (訪問看護)
イ	8	0	15	2
ウ	25	2	0	1
エ	18	0	31	1
オ	25	25	0	76 死亡:6/26
カ	7	0	35	5
キ	27	26	4	84
ク	21	17	0	26
ケ	12	0	0	27
コ	21	17	9	5
サ	10	6	15	35
シ	12	8	2	3
ス	8	0	24	5
セ	11	2	18	4
ソ	10	2	16	24
タ	11	2	32	0
チ	8	0	38	6
ツ	12	4	27	0
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				平均要介護度 3.88
ヘ				
平均	14.17	6.17	15.83	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	1. 看護・介護の連携強化及び同法人内事業所と一体的に協力し、利用者を確保し経営の安定を図る 2. 安心で安全な質の高いケアの提供を行うために、職員教育を充実させる 3. 地域住民との連携/街づくりへの参画
目標に向けた具体的取組	1-1) 登録者276件/年(23名/月)を目指す 1-2) 様々な加算要件の維持(ターミナルケア、訪問体制等) 1-3) 介護・看護との定期的なカンファレンス、同法人内事業所との一体的会議の継続 2-1) 事業所内研修の実施、外部研修への参加 2-2) 職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化 3-1) 地域住民や他事業所と共同で研修会の企画・実施 3-2) 日常的にかかわりのある地域住民等の相談に対応する体制を確保(総合マネジメント体制強化加算要件)

5. 活動報告

【5, 6月活動報告】

- * 運営推進会議(5/9)
- * 管理者会議(5/12、6/9)
- * 在宅事業部全体研修((法令遵守、職業倫理、プライバシー保護と個人情報保護、5/19)
- * 在宅事業部全体研修(インシデント・アクシデント・アンケート結果6/26)
- * 消防・消火訓練(5/30)
- * 送迎業務事故の防止対策オンライン研修(6/30)
- * やさしいK-ART:お休み中
- * 運営会議・身体拘束適正化委員会・虐待防止検討委員会・感染対策委員会・喀痰吸引会議(5/29、6/26)
- * 事業所合同カンファレンス(毎週水曜日)
- * 介護職カンファレンス(毎週水曜日)
- * 看護職カンファレンス(毎週金曜日)

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	【低圧持続吸引器を受け渡す際に落としてしまった】 利用者が車椅子からベッドへ移乗する際、呼吸器と携帯用持続吸引器を車椅子後ろから処置台へ移動する必要がある。A看護師からB看護師に携帯用持続吸引器を受け渡す際に落としてしまい作動はするが、角にひびが入り電池をセットすると浮いてしまうようになってしまった。
改善策	・車いすから処置台に設置するまで受け渡しではなく一人で完結できないか検討したが、部屋が狭くベッド横に車いすを設置すると通るスペースが無いため難しかった。受け渡しは必要なためお互いに声かけを行い、必ず相手が持ったことを確認してから手を離すことを徹底する。

内容	
改善策	

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし